

ヒューマングループ、インドネシア ジャカルタに保育園開設

～成長が期待されるアジアの保育・幼児教育事業に参入～

ヒューマンホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:佐藤朋也)は、インドネシア大手財閥のラディアントグループと協業し、2018年7月19日、インドネシアの首都ジャカルタのクニンガン地区に、現地の子どもたちを対象とした保育園「スターチャイルドインドネシア」を開設し、アジアでの保育・幼児教育事業に参入します。



(上記:完成イメージ)

■本件のポイント

- ・女性の社会進出が進むインドネシアで、現地の子どもたちを対象に、日本流の高品質で安心・安全な保育園を設立
- ・ヒューマングループの保育園運営および保育士育成ノウハウを活かし、現地で専門知識を有した保育スタッフを育成
- ・英語教育やプログラミングなどの早期教育や園庭の設置など、能力開発と心身の発達成長を促す教育プログラム

■本件の概要

保育園は、インドネシアの大手財閥ラディアントグループのPT. Radiant Centra Nusantara社と共同で、ジャカルタのオフィス街、クニンガン地区に開設され、0歳～5歳の乳幼児40名を受け入れます。

園内の空間デザインや内装、衛生管理などの施設運営から幼児教育、スタッフのキャリア形成支援にいたるまで、随所にヒューマングループが長年にわたり培ってきた保育園運営のノウハウを取り入れています。保育スタッフもグループにおける保育士養成・育成の知見を活かし、現地で、専門的な知識を持つ人材を育成。日本流の安心・安全な保育をベースにしつつ、インドネシアの文化・習慣を積極的に取り入れてローカライズされた新しい保育園です。

また、英語教育やプログラミング教育、九九の暗記、読書の習慣づけなど、早期教育を行うことを特長としています。園内には、インドネシアの保育園では珍しい園庭を設置。都心のオフィス街でありながら、子どもたちが思い切り身体を動かせる環境を提供するとともに、年齢の違う子どもたちが自然に触れ合い、遊びの中で試行錯誤することで心身の発達・成長を促すような施設づくりで、インドネシアの既存の保育園の質や教育方針とは一線を画すものとなっています。

■本件の背景

インドネシアは、近年、経済成長を続け、中間所得者層の拡大や女性の社会進出の広がりを背景に、保育需要が高まっています。これに伴い、保育のニーズも多様化。これまでの「ただ子どもを預かる」保育だけではなく、早期からの質の高い幼児教育に関心を寄せる保護者が増加しています。

ヒューマングループは、こうした背景から、2017年にインドネシアの大手財閥であるラディアントグループと提携。日本国内での10年以上にわたる保育園運営のノウハウを活かした、高品質で、安心・安全を最優先した保育園の設立に向け、取り組んできました。

■今後の展望

両社の共同プロジェクトでは、こうした日本流を取り入れた保育園を、2020年度末までにインドネシア国内に20カ所開設します。これにより、インドネシア市場における保育・幼児教育ビジネスの基盤を作るとともに、こうした施設を他の東南アジアの国・地域でも展開し、事業を拡大させてまいります。

会社概要

ヒューマンホールディングス株式会社

- 代表者 : 代表取締役社長 佐藤 朋也
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1 階
- 資本金 : 12 億 9,990 万円
- URL : <https://www.athuman.com/>

<リリースに関するお問い合わせ> ヒューマングループ 広報担当 大森

TEL:(03)6846-8002 FAX:(03)6846-1220 E-mail:kouhou@athuman.com